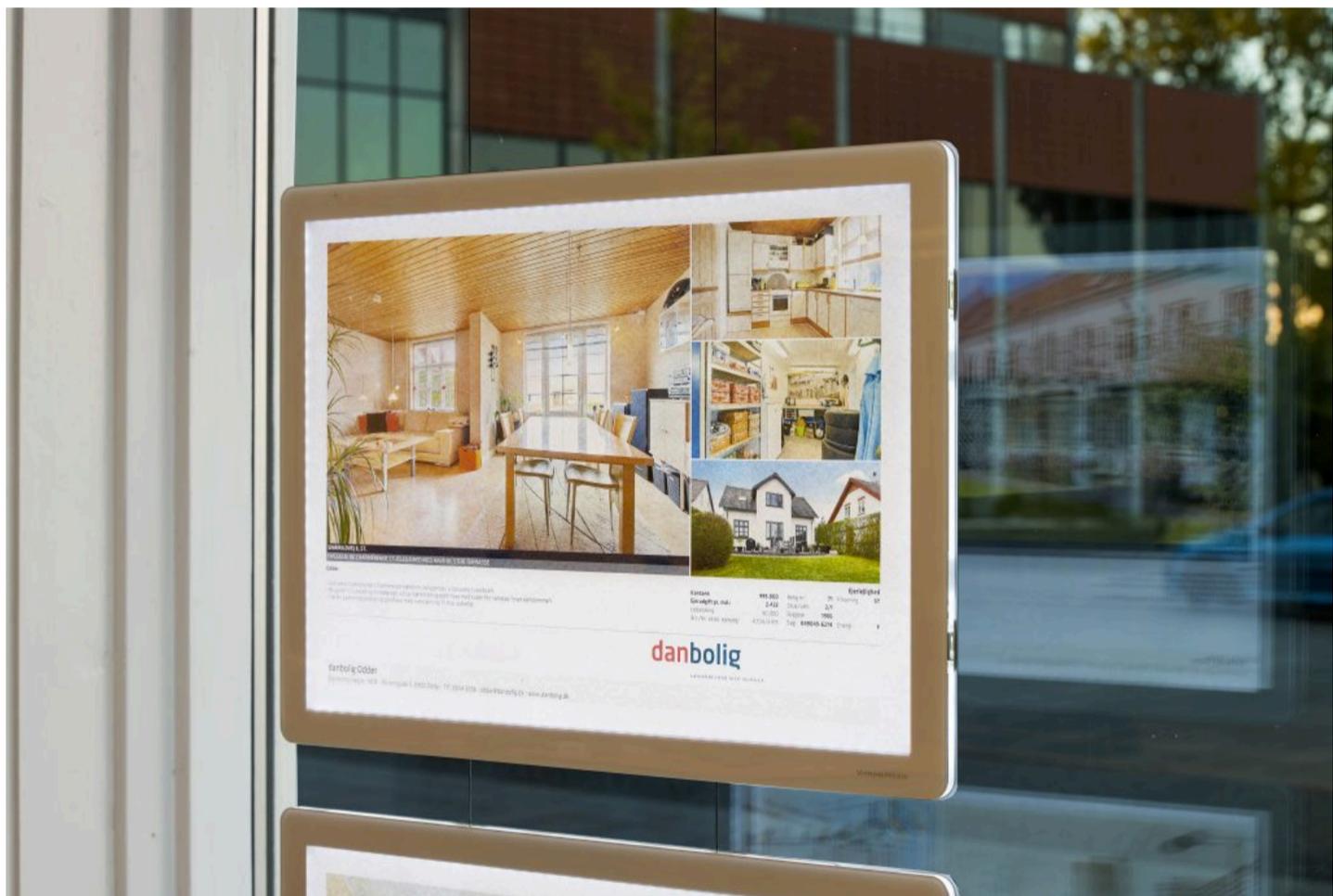


# VM 設置マニュアル



## 2、安全上のご注意

取付説明書には安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。  
 次の内容をよく理解してから本文へお進みください。

### 【表示の説明】

表示	表示の意味
 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

### 【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 <b>禁止</b>	禁止（してはならないこと）を示します。
 <b>指示を守る</b>	指示を守る（必ずすること）を示します。
 <b>注意</b>	注意を示します。

 <b>警告</b>	
異常や故障のとき	
 <b>電源プラグを抜く</b>	機器から煙が出る、異臭がするときは電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると短絡・火災・感電の原因となります。
 <b>電源プラグを抜く</b>	製品に水をつけたり、かけたりしないでください。 内部に水が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのまま使用すると短絡・火災・感電の原因となります。
設置のとき	
 <b>禁止</b>	屋内の窓前・壁以外での用途での設置・使用は行わないでください。 想定外の場所への設置、壁面からはみ出した設置、壁面・窓面から離れた(人が下に入り込めるような)位置での設置、人が通過する場所での使用は、人が衝突・転倒、製品が落下する可能性があります。

 <p>注意</p>	<p>製品を子供が入れるような高さ(600mm 以上)に吊り下げる場合には、製品の下に入れないような措置を講じてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>当社指定の製品以外と組み合わせてのご利用は出来ません。 当社以外の製品・電源を組み合わせて使用した場合は、製品の故障並びに火災の恐れがあります。 その際に生じる機器の破損・損傷、火災などの事故、その他の損害については一切の責任を負えません。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p>壁・天井への取付工事は、専門業者(電気工事士2種以上の資格所有者推奨)に依頼をしてください。 工事が不完全だと、トラブルが起きた際の、怪我及び機器または設置場所の破損などの問題が起こります。 取付場所となる壁や天井には十分な強度があることを確認して行ってください。 強度が不足している場所に設置したことに起因する天井・壁への損傷、その他の損害については一切責任を負えません。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p>落下・転倒防止の措置を行ってください。 X Power レールに接続する固定具などの各器具は、取付説明書に記載されている内容をよく理解し、適切にしっかりと設置してください。 また人が寄りかかったり不意な衝撃を与えるようなことがないように措置を行ってください。囲いなどで、設置作業員以外の人が近づけないような措置を行ってください。 特に大きなLEDパネルの取り扱いの際には最低2名の設置者で作業を行ってください。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p>電源プラグは、交流 100V に差し込んで使用してください。 交流 100V 以外を使用すると火災・感電の原因となります。</p>
<p>使用する時</p>	
 <p>分解禁止</p>	<p>LED パネルの分解・改造をしないでください。 感電、火災の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>当社指定の製品以外と組み合わせてのご利用は出来ません。 当社以外の製品・電源を組み合わせて使用した場合は、製品の故障並びに火災の恐れがあります。 その際に生じる機器の破損・損傷、火災などの事故、その他の損害については一切の責任を負えません。</p>
 <p>注意</p>	<p>電源コードを巻いたまま使用しないでください。 電源コードの上に物を置かないでください。 電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差込みが緩い時は使用しないでください。短絡・感電・発火の原因となります。</p>

 <p>注意</p>	<p>強い衝撃を与えないでください。 破損・故障の原因となります。</p>
<p>お手入れの時</p>	
 <p>指示を守る</p>	<p>必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電、もしくは機器の損傷の原因となります。電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグ絶縁部を持って引き抜いてください。 感電・事故の原因となります。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p>X Power レール、固定具、LED パネルを点検・清掃・製品の入れ替えをする際には、LED パネルを取り外してから確認してください。 LED パネルを取り付けたまま作業を行うと製品を落下させる恐れがあります。また、お手入れの際には、囲い等でメンテナンス作業員以外の人が近づけないような措置を行ってください。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p><b>固定具などの確認作業</b> 固定具・接続部分が緩んでいる状態で強いショック・振動がかかると、製品が落下する恐れがあります。定期的に点検を行ってください。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p>電源プラグの刃及び刃の取付面にホコリが付着している場合は、よく拭いてください。 火災の原因になります。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p>絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 製品の故障・不具合・発火、また怪我をする恐れがあります。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p>本体、AC アダプター、電源コード、ハンマーケーブルなどが破損した場合、使用を中止してください。 最終ページ記載の窓口へお問い合わせください。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p>電源プラグは濡れた手で抜き差ししないでください。 感電・事故の原因となります。</p>

 <h1>注意</h1>	
<p>設置のとき</p>	
 <p>指示を守る</p>	<p>LED パネルは正しい方向に設置してください。 誤った方向に設置したまま放置した場合には、製品の寿命が縮まり、破損することがあります。LED パネル設置の正しい方向は P8「VM TWO バックライトペーパー差込方法」をご参照ください。</p>
 <p>指示を守る</p>	<p>LED パネル設置の際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 誤った手順で設置作業を行うと、感電する恐れがあります。また製品の寿命が縮まります。</p>

 <b>指示を守る</b>	<p>取付工事の際には、適宜手袋を着用してください。</p> <p>取付用のネジ、尖った角などで手を切る恐れがあります。</p>
<b>使用するとき</b>	
 <b>指示を守る</b>	<p>長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>製品の寿命が縮まります。</p>
 <b>指示を守る</b>	<p>バックライトペーパーを差し込むフロントパネルとバックパネルは、LEDパネルの側面にある窪み部分(開閉口)から丁寧に空けてください。</p> <p>取付説明書での指定通りに開けないと、製品の破損、また手の怪我などをする恐れがあります。P8「VM TWO バックライトペーパーの差込方法」を参照してください。</p>
 <b>指示を守る</b>	<p>寒冷地でも、室温の状態フロントパネルやバックパネルの開け閉めを行ってください。</p> <p>周囲の温度が低いと、フロントパネルやバックパネル（バックライトペーパーの差込部分）が固くなり、破損しやすくなります。バックライトペーパーの交換の際は、常温で一定時間温まった後にバックライトペーパーの差入れを行ってください。</p>
 <b>指示を守る</b>	<p>LEDパネルの下にもものを置かない。</p> <p>LEDパネルの取付時またはトラブル時に、LEDパネルが落下し、下にあるものを破損する恐れがあります。</p>

そのほか、設置に関するご質問は、最終頁にある連絡先にご連絡ください。

### 3、取付の際のお願い



指示を  
守る

適切な環境に取付けてください。

屋内専用

窓前、壁面の天井

塩害・温泉害の懸念がない場所

過度な蒸気がかからない場所

LED パネルの使用条件	温度	湿度
保管環境	-5°C ~ 60°C	10% ~ 95%、結露しない環境
使用環境	0°C ~ 40°C	20% ~ 90%、結露しない環境



指示を  
守る

安定した取付のために

- 1、110cm の X Power レールに一本に対して 3 カ所以上でビスを留めてください。
- 2、天井や壁に取付予定の LED パネルと X Power レールの総重量の 2 倍の重さを保持出来る強度があることを確認してください。
- 3、X Power レール及び LED パネルの設置工事中は、AC アダプターを接続しないで下さい。
- 4、設置箇所の部材が
  - 4-1 軽量鉄骨(LGS など)、アルミ、木材の場合  
上記 1 ~ 3 項をふまえた上で、ビスやアンカーでしっかりと固定してください。
  - 4-2 石膏ボードの場合  
設置を推奨しません。他に設置可能な場所がない場合には、下記 3 点を踏まえた上で、施行者の責任のもとに固定してください。
    - 石膏ボード用プラグ(アンカー)を使用してください。
    - 少なくとも 1 点は、石膏ボード以外でしっかりと固定出来る部材に設置して下さい。

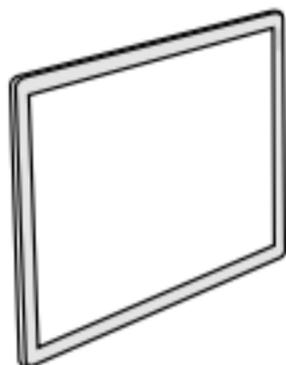


指示を  
守る

安全な取付のために

- 1、取付け時には、製品の落下による人の怪我(死亡)を防ぐために、囲い等で人が近寄れない措置を講じてください。
- 2、取付け時の製品落下による床の破損を防ぐために、設置個所の床にシートを敷くなどの措置を講じてください。
- 3、はしごでの高所での取付作業の際は、落下・転倒防止の措置を講じてください。  
最低 2 名の設置者で作業を行ってください。

## VM TWO 内容



ディスプレイ

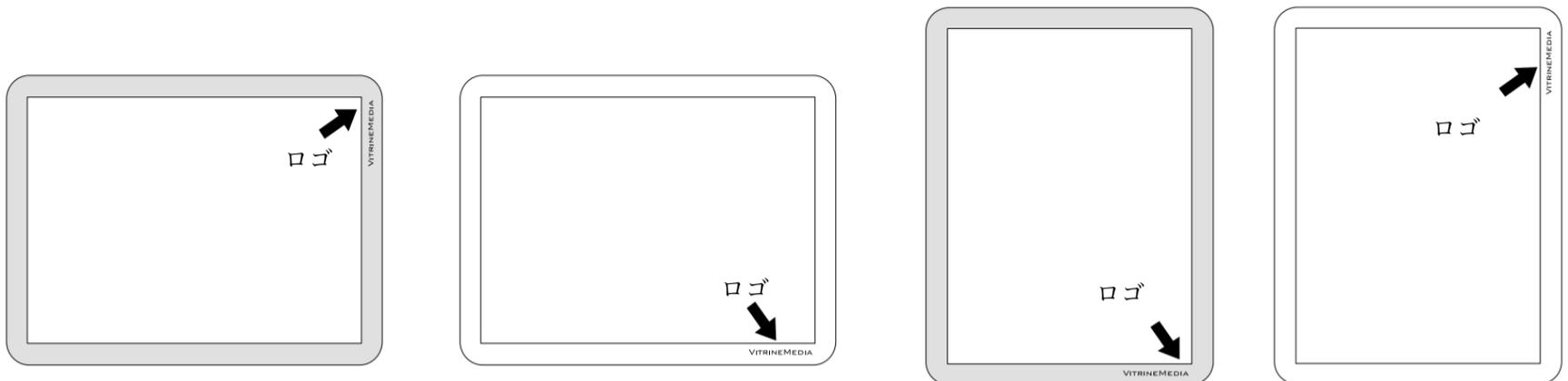


ケーブル

- 透明パネル
- リフレクティブペーパー
- 本体用保護シート

# VM TWO バックライトペーパーの差し込み方法

## ・ディスプレイ（黒）のフロントパネル、バックパネルの見分け方



フロントパネル：横（黒/シルバー）

バックパネル：横（黒/ホワイト）

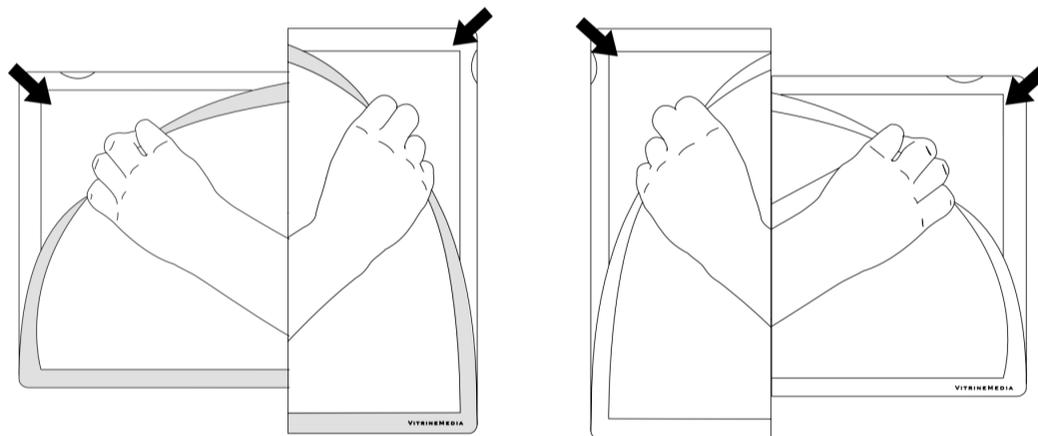
フロントパネル：縦

バックパネル：縦

フロントパネル：ディスプレイを横向きにした時にロゴが右上、縦向きにした時にロゴ右下になる面

バックパネル：ディスプレイを横向きにした時にロゴが右下、縦向きにした時にロゴ右上になる面

## ・バックライトペーパーの差し込み方

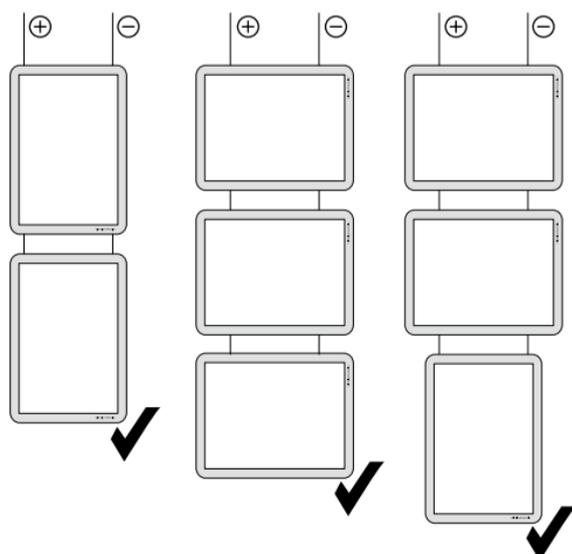


ディスプレイを横向きにし、凹んだ部分から斜めの方向開く。中に入っている白い紙を取り除く。

注意：パネルは半分程度しか開きません。勢いよく開けるとパネルが破損する恐れがあります。

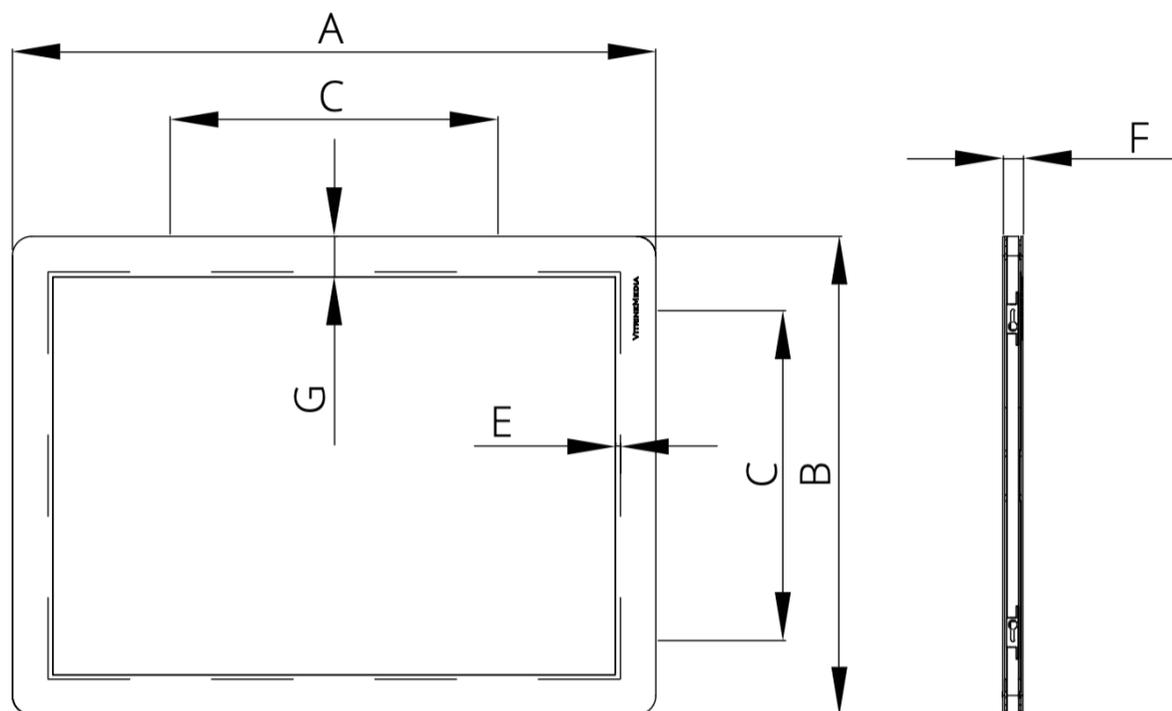
※初期不良以外のパネル割れは保証対象外です。

## ・電源ケーブルの方向



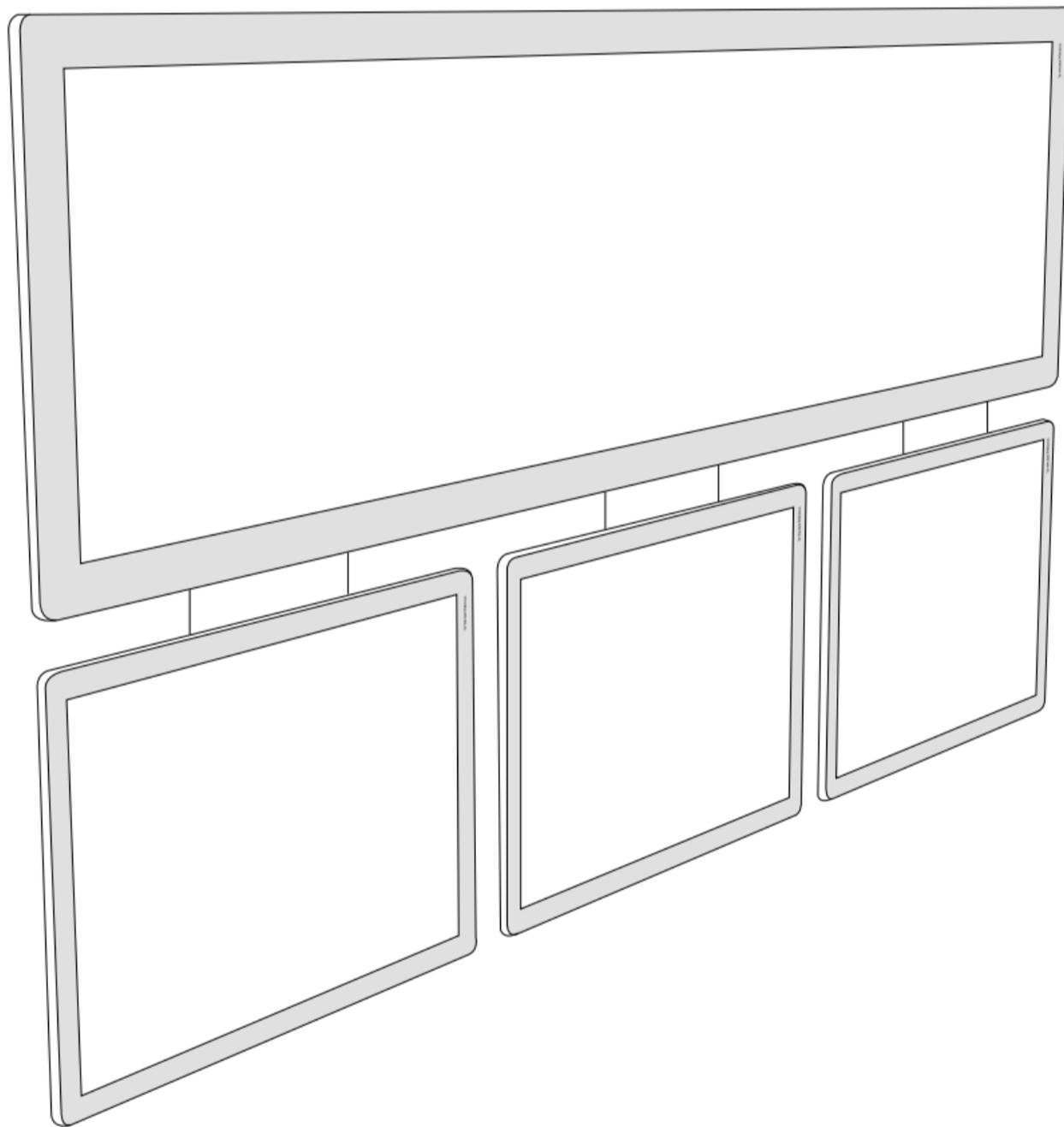
フロントパネル側から見て左がプラス、右がマイナスの電気が流れます。

# VM TWO サイズ表

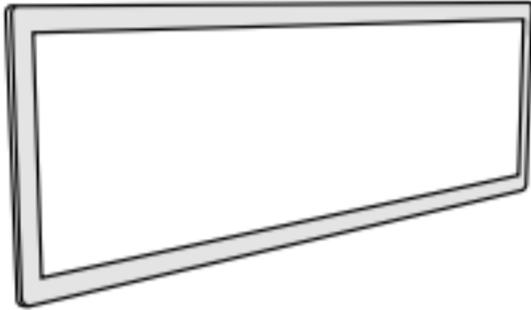


製品名	見え寸 (mm)		製品 (上記の図参照) (mm)						電圧 (V)	消費電力 (W)	光度 (LUX)	
	枠線外側	枠線内側	A	B	C	D	F	G			前面	後面
VM TWO A4	210×297	205×292	334	247	170	2.5	10	21	24	5.63	6400	3300
VM TWO A3	297×420	292×415	457	334	170	2.5	10	21	24	8.04	5200	2400
VM TWO A2	420×594	415×589	631	457	170	2.5	10	21	24	11.26	3400	1700
VM TWO A1	594×841	589×836	878	631	170	2.5	12	21	24	25.20	4000	2300
VM TWO A0	841×1189	833×1181	1251	903	560	4	13.5	35	24	35.28	2000	1000

# PANORAMIC BANNER MIX 取り扱い説明書



# PANORAMIC BANNER MIX 内容



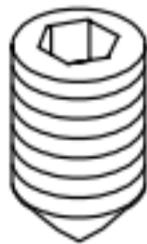
ディスプレイ



ケーブル



六角レンチ

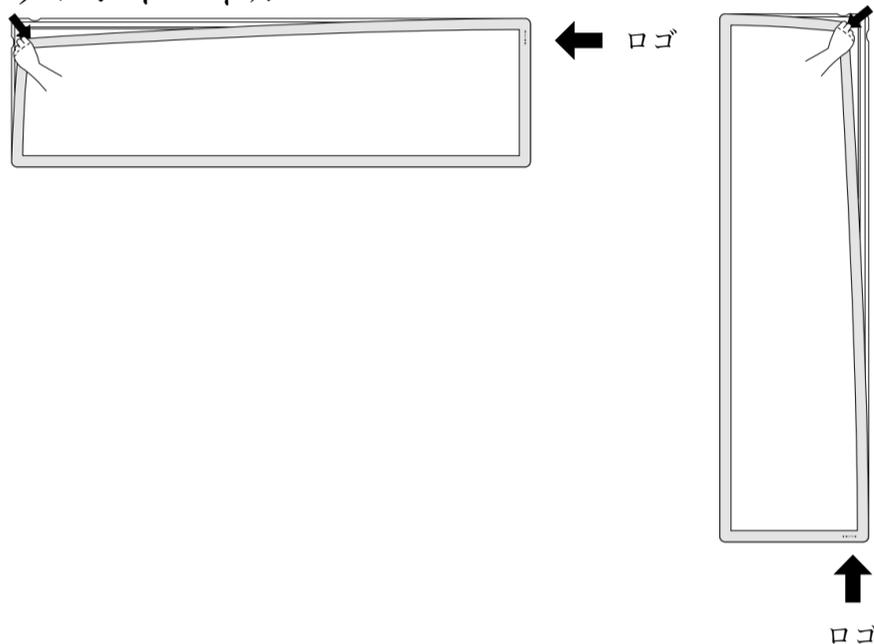


ディスプレイ固定用ネジ

# VM PANORAMIC BANNER MIX バックライトペーパーの差し込み方法

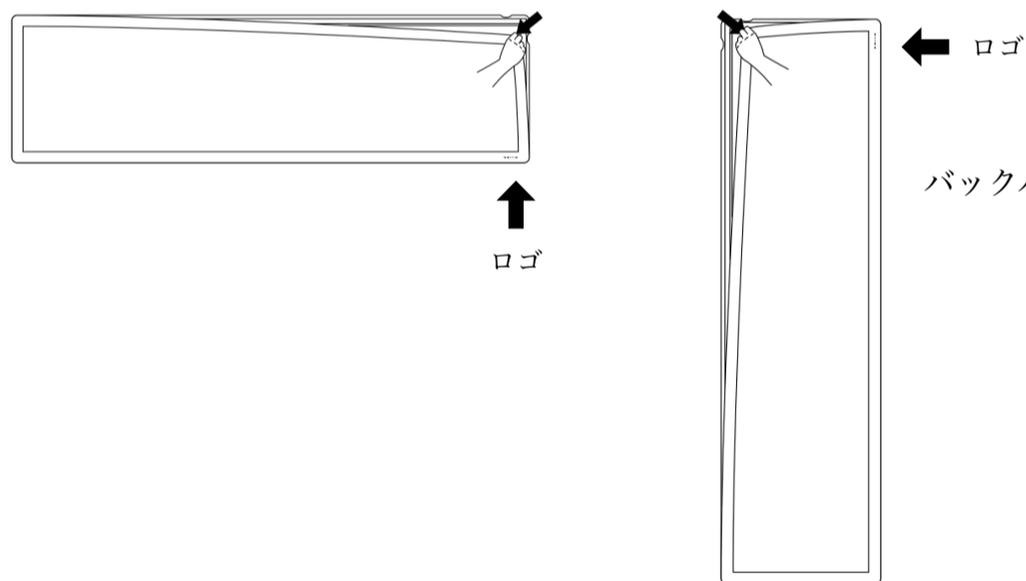
- ・ディスプレイ（黒）のフロントパネル、バックパネルの見分け方

フロントパネル



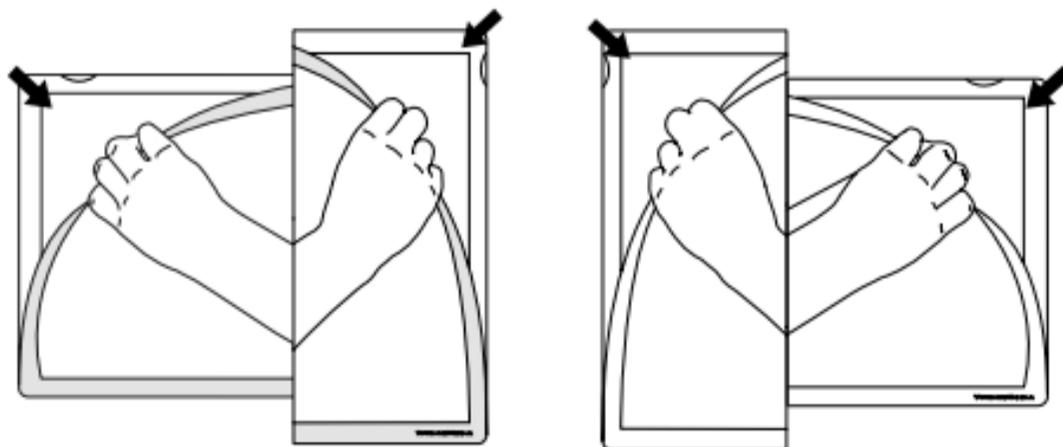
フロントパネル：ディスプレイを横向きにした時にロゴが右上、縦向きにした時にロゴ右下になる面

バックパネル



バックパネル：ディスプレイを横向きにした時にロゴが右下、縦向きにした時にロゴ右上になる面

- ・バックライトペーパーの差し込み方



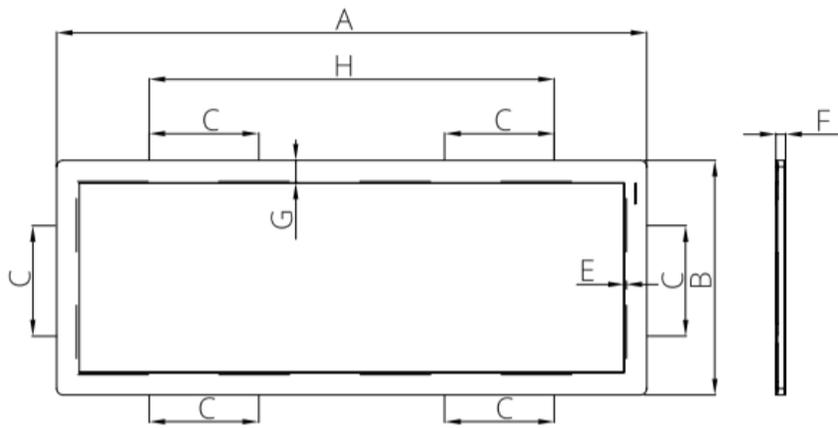
ディスプレイを横向きにし、凹んだ部分から斜めの方向に開く。

注意：パネルは2/3しか開きません。勢いよく開けるとパネルが破損する恐れがあります。

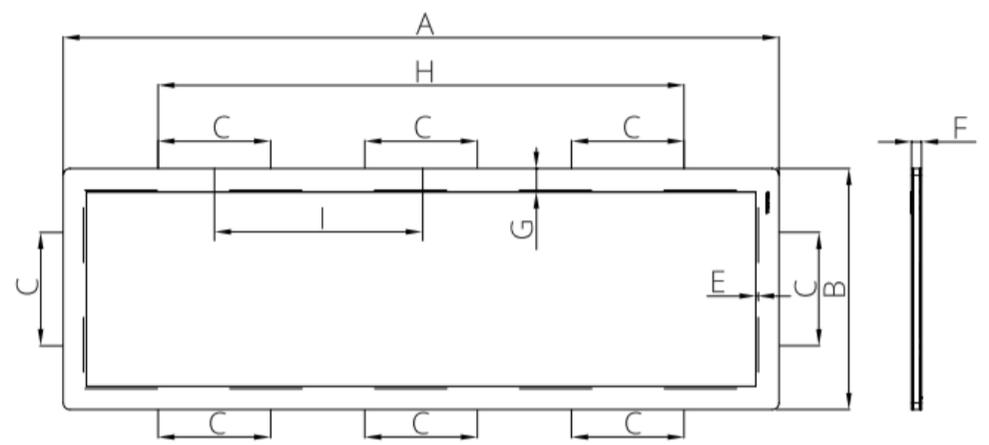
バックライトペーパーはパネルを大きく開かなくても差し込むことができます。

# VM PANORAMIC BANNER MIX サイズ表

## Sサイズ



## Lサイズ

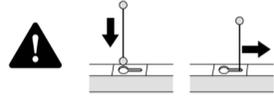
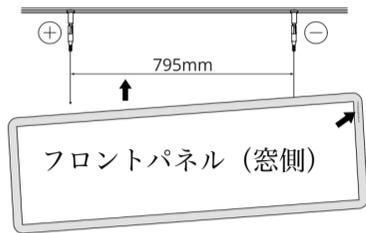


	S	L
A	1082	1454
B	412	412
C	170	170
E	4	4
F	12	12
G	35	35
H	795	1167
I		498.5
見え寸 (枠線外側)	1020×350	1392×350
見え寸 (枠線内側)	1012×342	1384×342

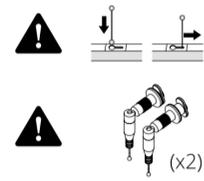
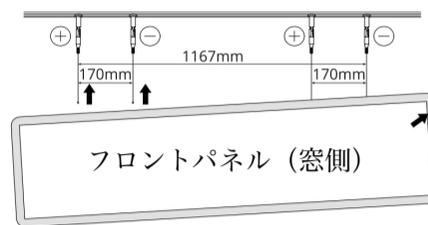
# VM PANORAMIC BANNER MIX 設置方法

① レールから出ているケーブルをバナー上部の穴に差し込み、内側にスライドさせる

VM PANORAMIC BANNER MIX S  
VM PANORAMIC BANNER MIX S

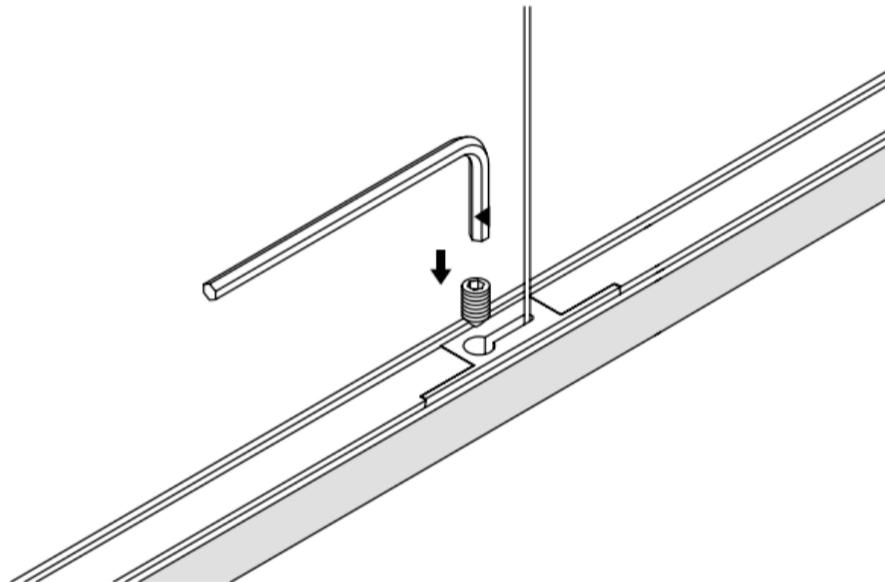


VM PANORAMIC BANNER MIX L  
VM PANORAMIC BANNER MIX L

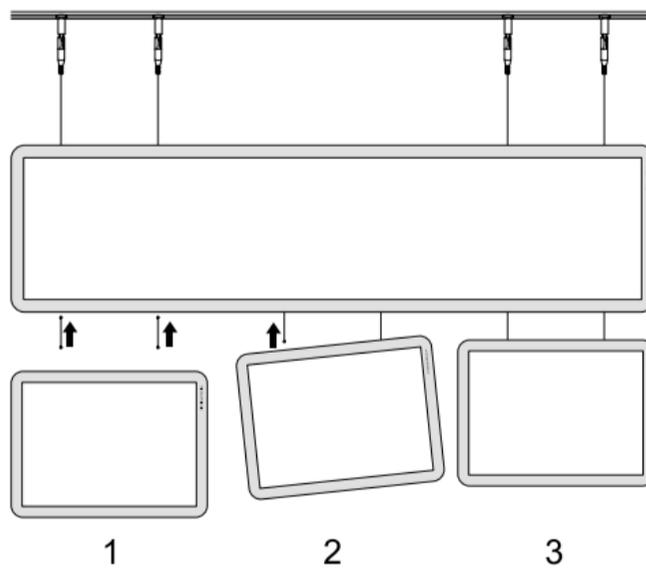


注意：XPR FIXTURE SET が2ペア必要です。

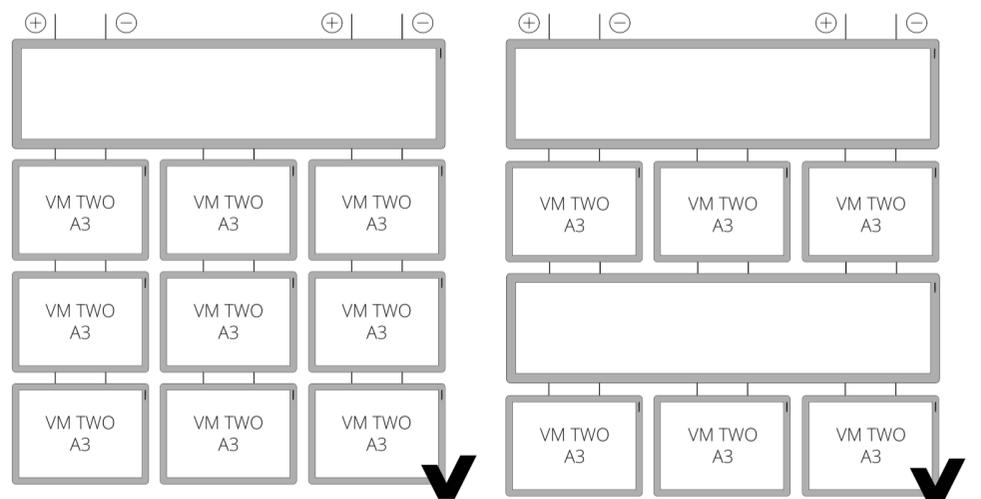
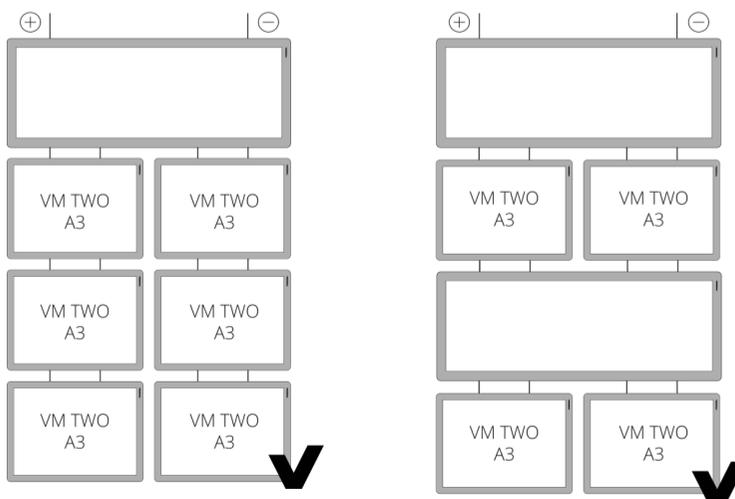
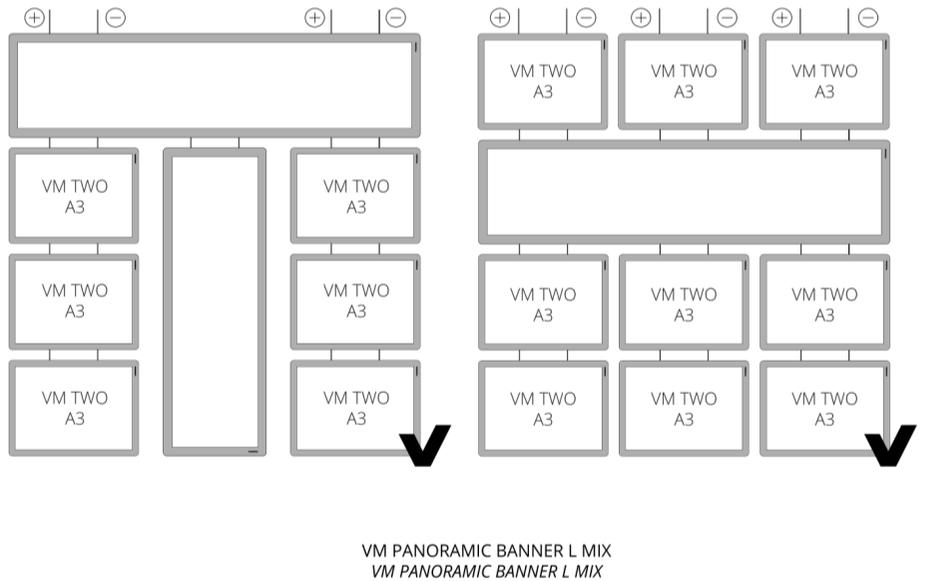
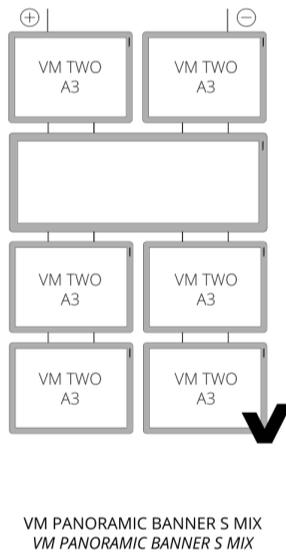
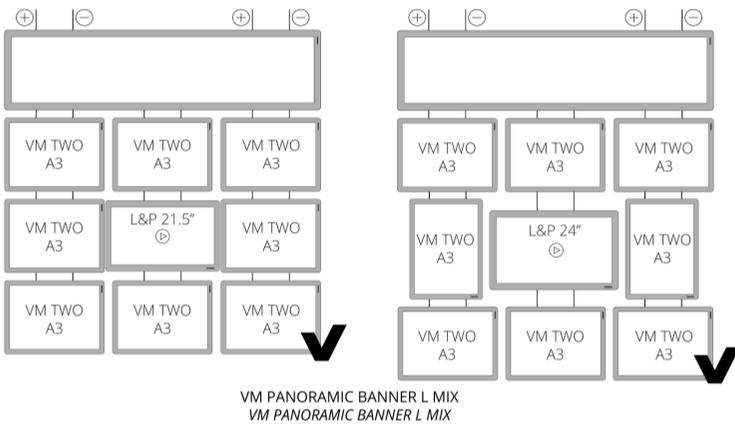
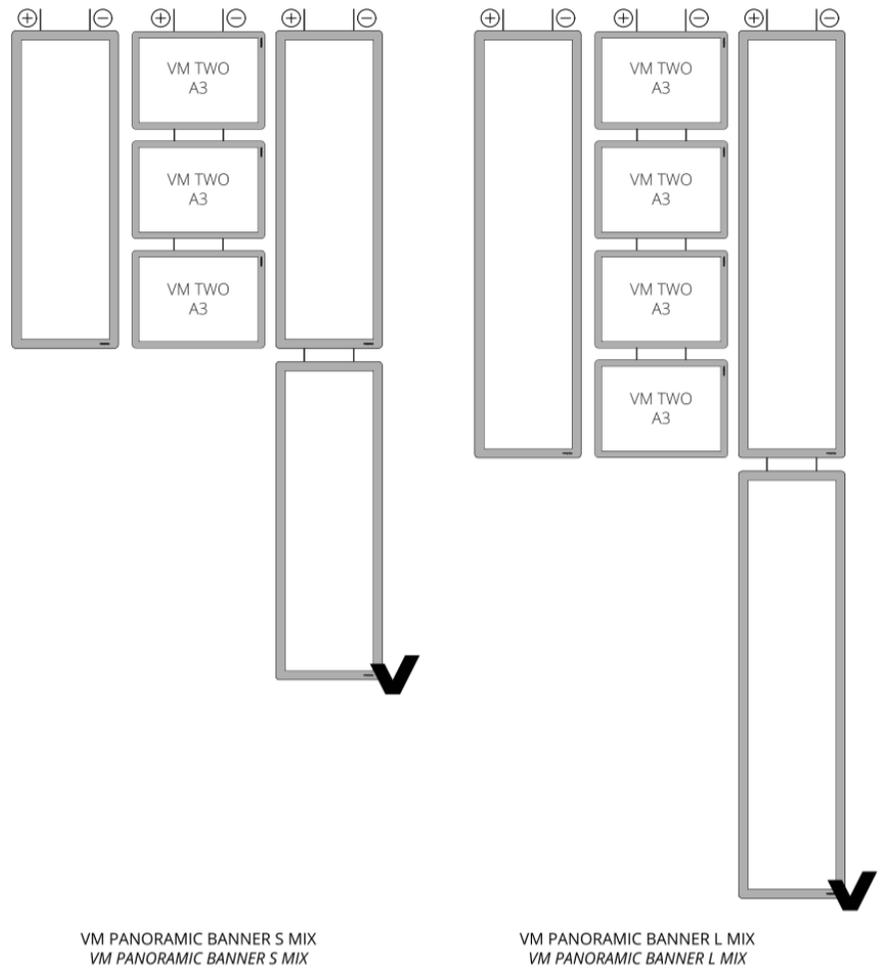
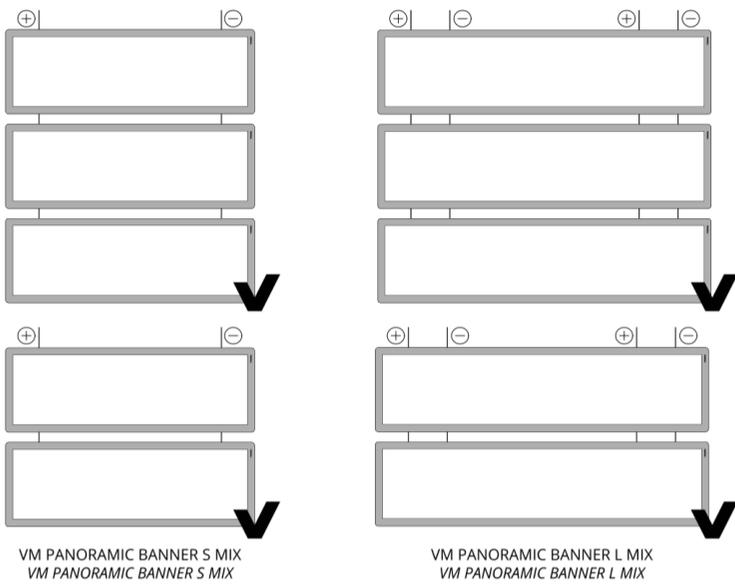
② 固定用のネジをケーブルを差し込んだ穴に六角レンチで固定させる



③ VM TWOをバナーの下に吊り下げる場合は、①・②の手順と同じようにする



# VM PANORAMIC BANNER MIX ディスプレイ組み合わせ例



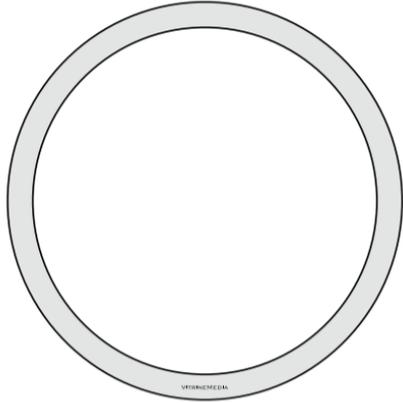
SサイズはA3のVM TWOが6枚まで吊り下げ可能

LサイズはA3のVM TWOが9枚まで吊り下げ可能

VM SIGN R60



## VM SIGN R6o の内容



ディスプレイ

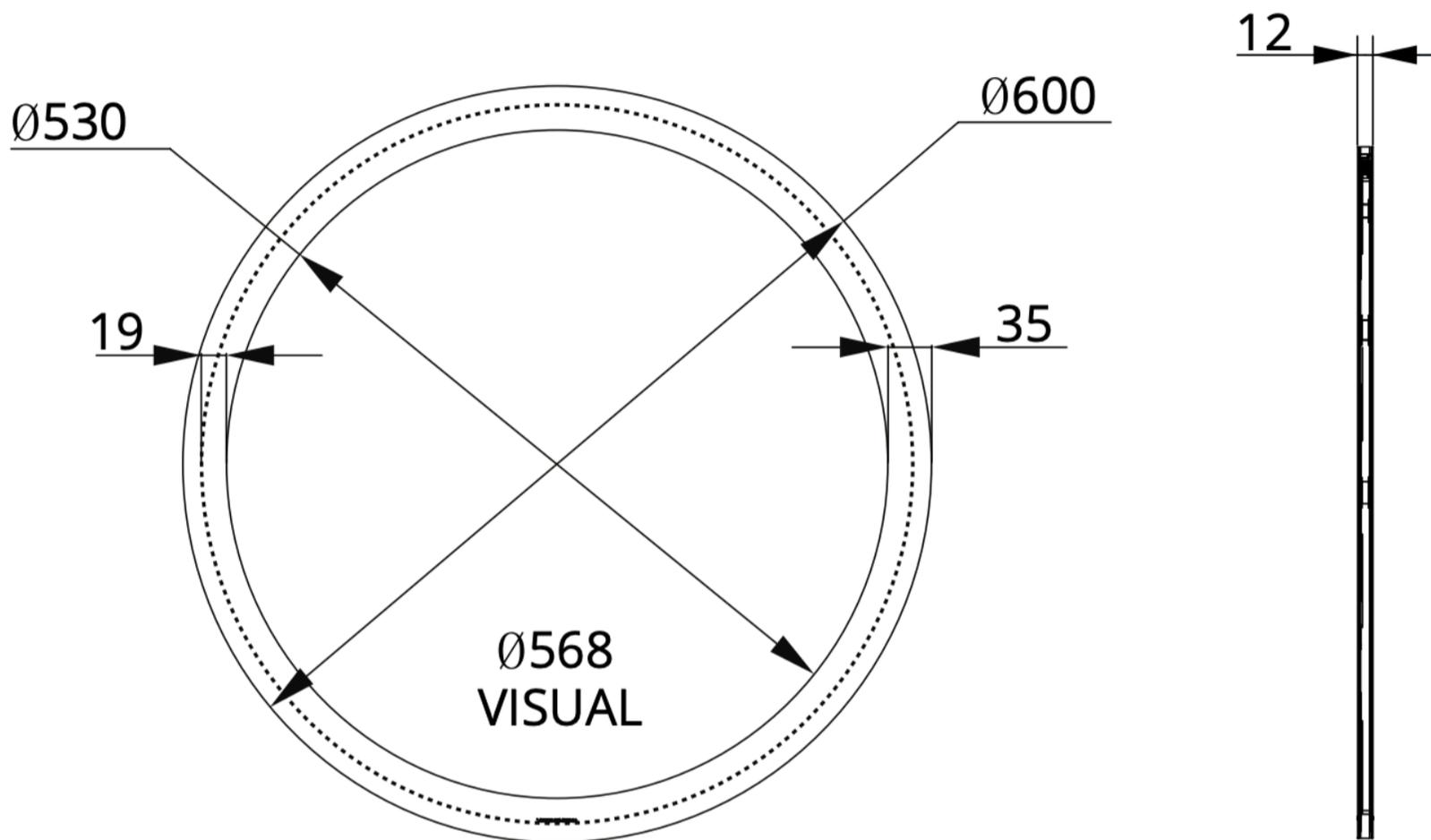


ケーブル



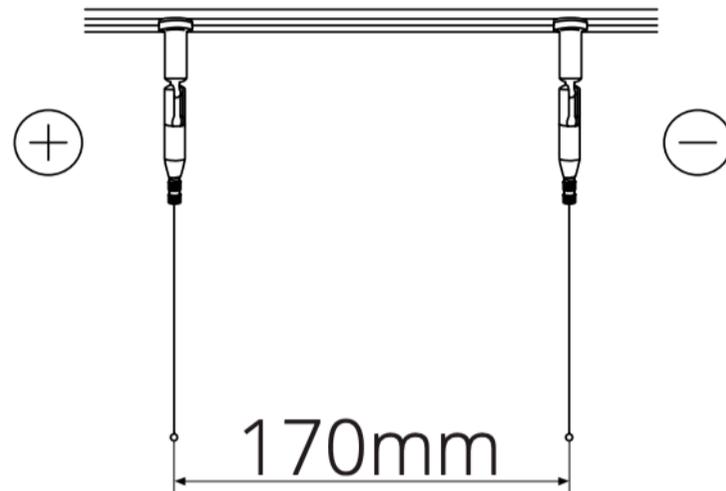
ディスプレイ固定用ネジ

# VM SIGN R 60 サイズ表



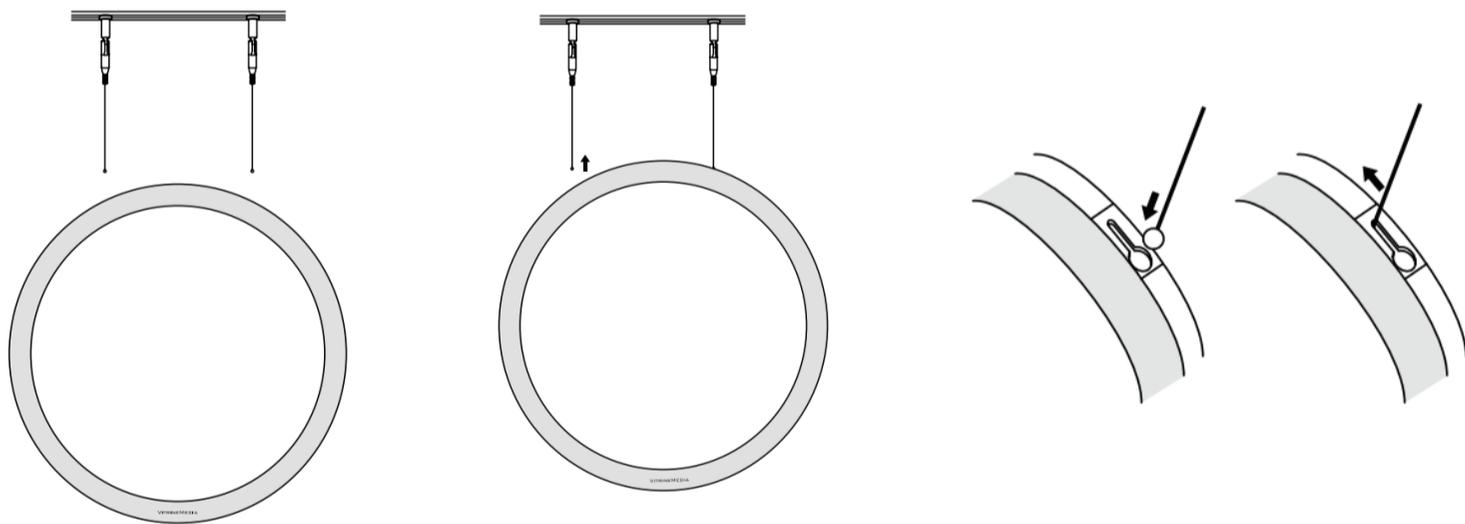
# VM SIGN R6o 設置方法

## 1. X POWER RAIL にXPR FIXTURE SET を取り付ける (別売)

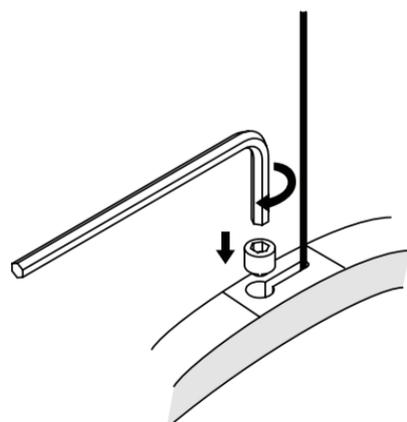


・フロントパネル側から見て、左がプラス極 (赤)、右がマイナス極 (青)

## 2. VM SIGN R6oを取り付ける



・ディスプレイ上部の穴にケーブルを差し込み、内側にスライドさせる

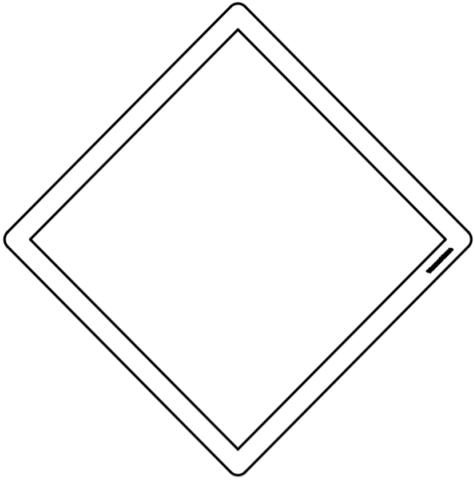


固定用のネジがある場合は、ケーブルを差し込んだ穴に六角レンチで固定させる。

# VM DIAMOND



# VM DIAMOND 内容



ディスプレイ



ケーブル



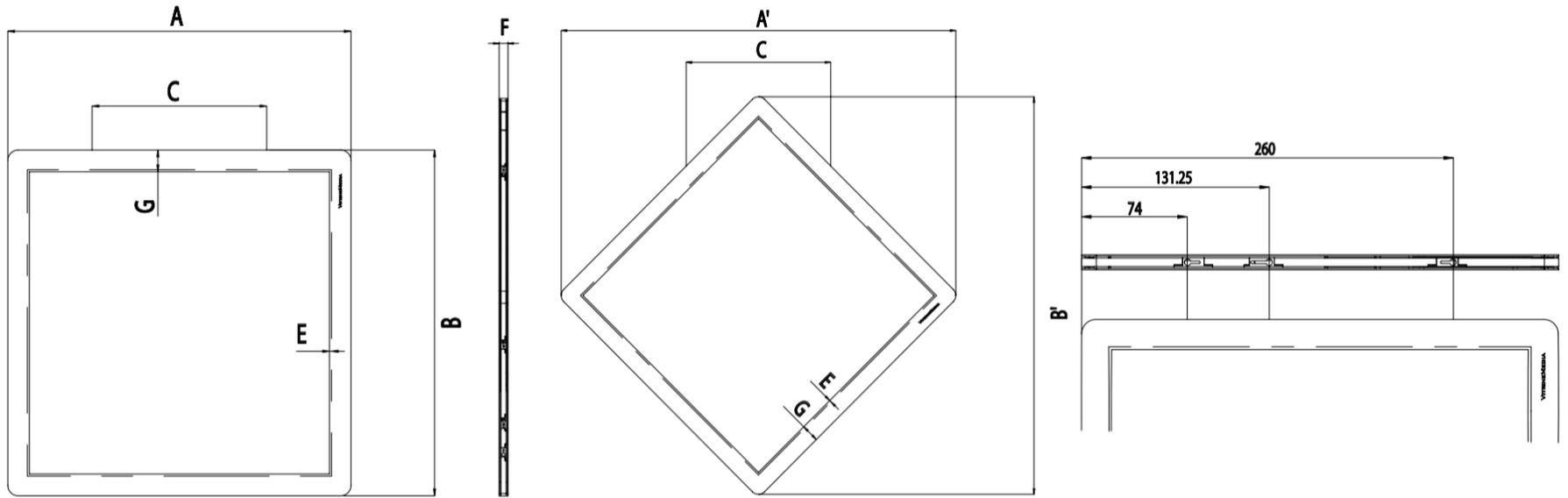
六角レンチ

# VM DIAMOND サイズ表

サイズ (mm)

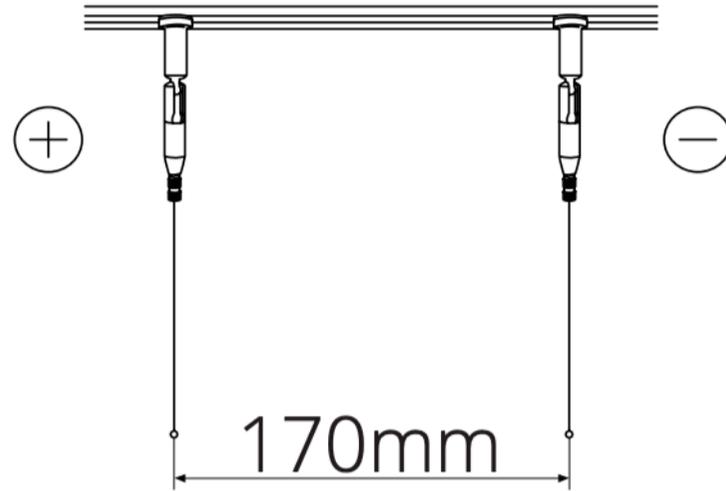
A	B	A'	B'	C	E	F	G
334	334	464	464	170	2,5	10	21

見え寸 297×297 mm



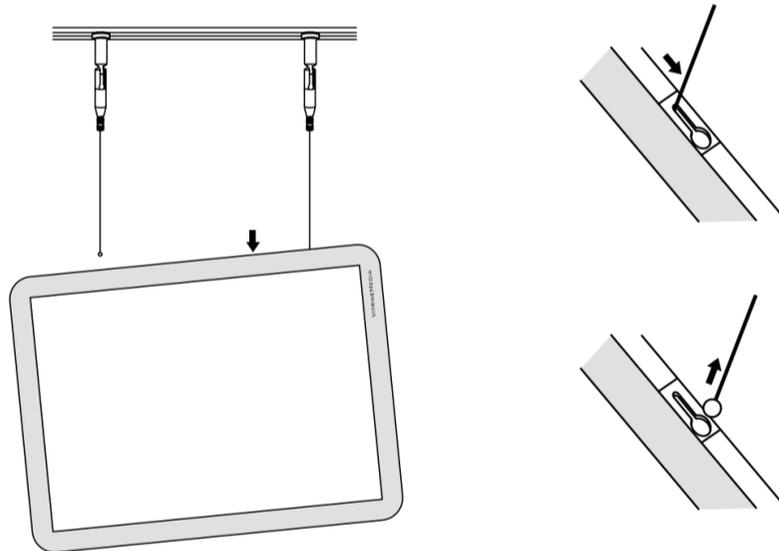
# VM DIAMOND 設置方法

## 1. X POWER RAIL に XPR FIXTURE SET を取り付ける (別売)

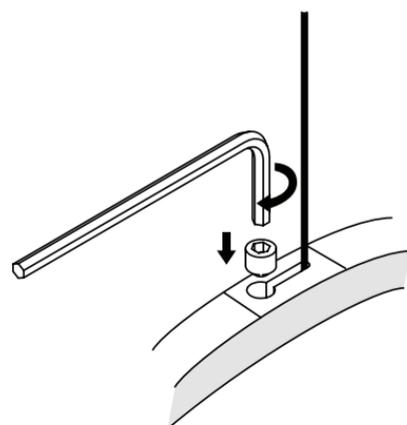


・フロントパネル側から見て、左がプラス極 (赤)、右がマイナス極 (青)

## 2. VM DIAMOND を取り付ける



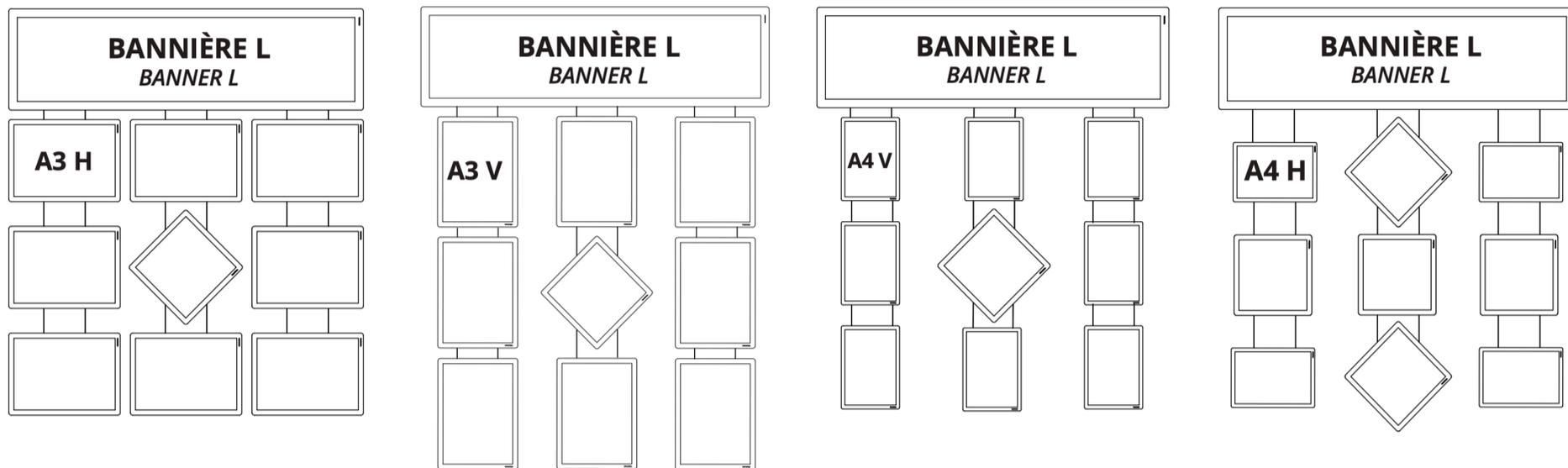
・ディスプレイ上部の穴にケーブルを差し込み、内側にスライドさせる



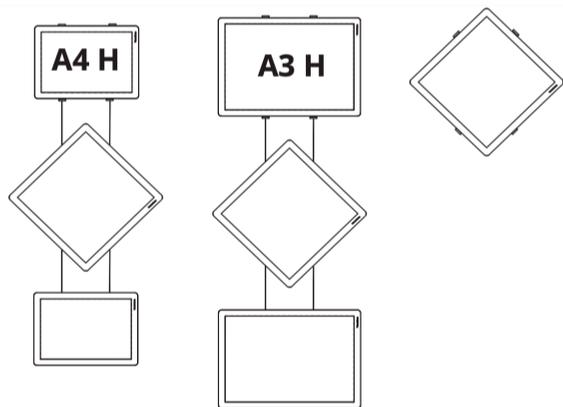
固定用のネジがある場合は、ケーブルを差し込んだ穴に六角レンチで固定させる。

# VMDIAMOND ディスプレイ組み合わせ例

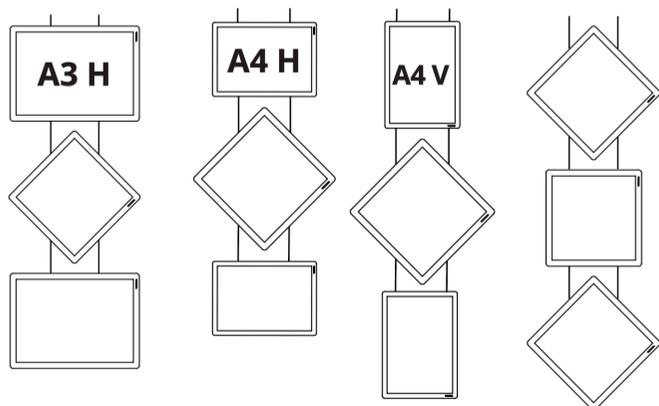
## 1. バナーの下に設置



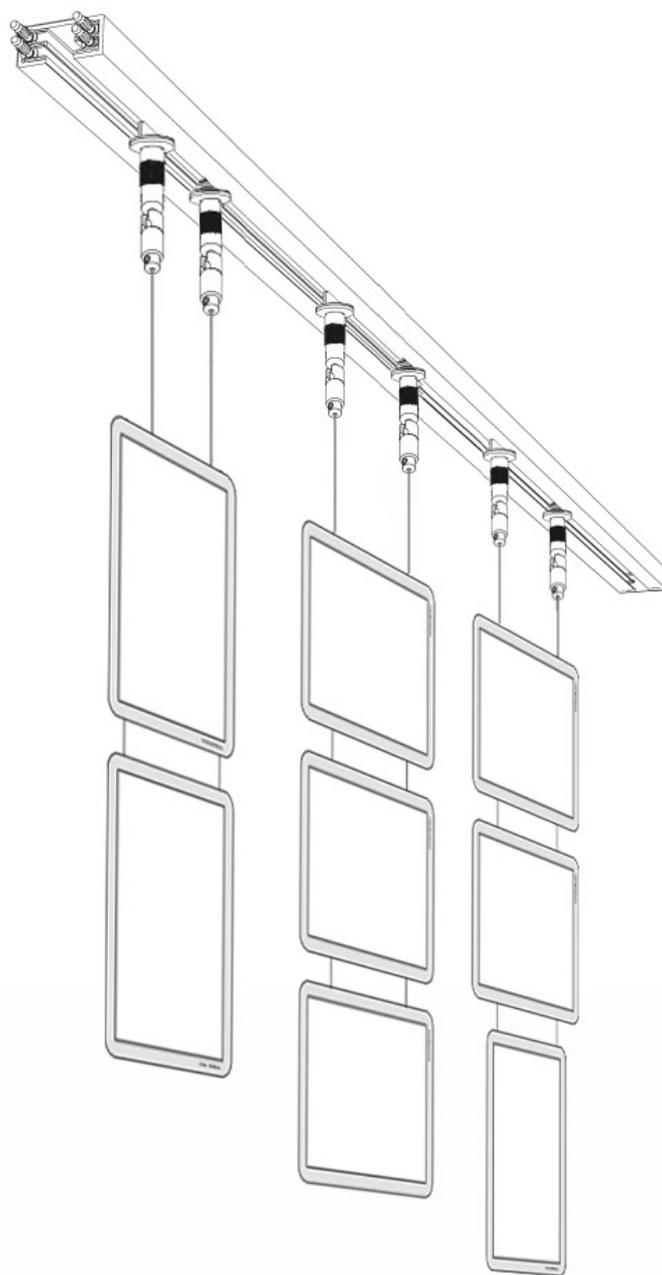
## 2. TWO WALL FIXTURE SET を使用



## 4. その他レールなどを使用

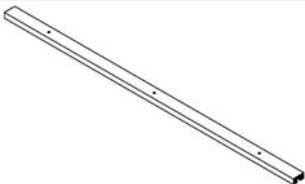
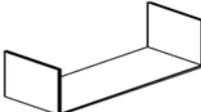
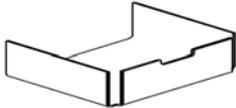


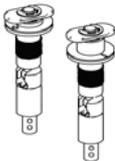
# X Power レールシステム取付説明書

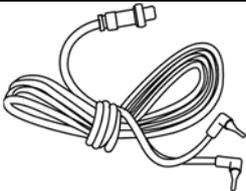


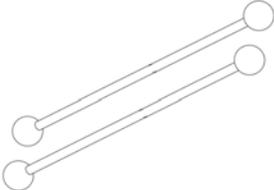
**VITRINEMEDIA**  
JAPAN

# 1、各部品の名称

X Power レールセット			
①X Power レール	②バナナジョイント(4個)	③連結部カバー	④レールカバー(2個)
			

固定具セット		
⑤固定具(2個) (赤がプラス、青がマイナス)	⑥六角レンチ s2	⑦ハンマーケーブル 3m(2本)
		

電源セット			
⑧XPR コード 40/60/90W アダプター用 又は XPR コード 160W アダプター用	⑨変換ケーブル-タイプ1 40/60/90W アダプター用 *160W アダプターには変換ケーブルが不要	⑩AC アダプター	⑪電源コード
			

LED パネルセット		
⑫LED パネル VM TWO 両面タイプ	⑬ダブルハンマーケーブル(DHC) 48mm(各LEDパネルにつき2本)	⑭六角穴付き止めネジ(4個+予備1個)と六角レンチ
		

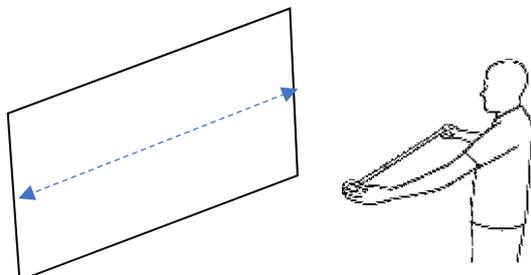
## その他必要な工具

電動ドリル、ニッパー、巻き尺、水準器、ドライバー、切断工具、粘着テープ、レール用ネジ(M5/ST4.8)、プラグ・アンカー(M5/ST4.8)

## 4、取付方法

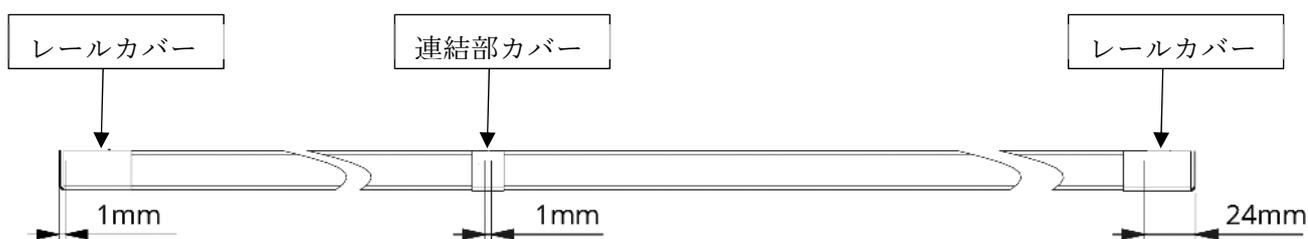
### STEP 1：設置場所の長さを測る。

X Power レールの設置予定場所(天井・壁)の長さを測ってください。

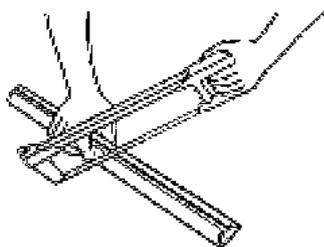


### STEP 2：必要な X Power レールの数と長さを決める。

X Power レールの連結部や XPR コードの接続に必要なスペースを考慮した上で、必要な X Power レールの数と長さを決めてください。



必要に応じて、鋸などを使用して X Power レールをカットしてください。



注意

アルミ製の X Power レールを切った後は、内部に金属片が残らないことを確認してください。



注意

鋸などの切断工具の取り扱いは、取扱注意を守り、手などを切らないように気を付けてください。

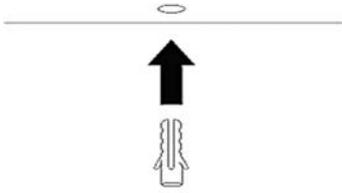


注意

長さの延長のための追加の X Power レールやカバーが必要となった場合には、別売の X Power レール、連結部カバー、レールカバーをご購入ください。

### STEP 3 : X Power レールのネジ取付個所に穴をあける。

ネジを留める際に、必要に応じてドリルなどで X Power レールに新しく穴をあけてください。  
石膏ボードへの取り付けの際は、壁にプラグ・アンカーを打ってください。



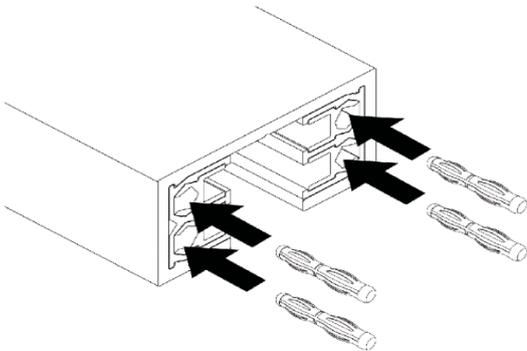
### STEP 4 : X Power レールを設置する。

#### パターン① 1本設置する場合

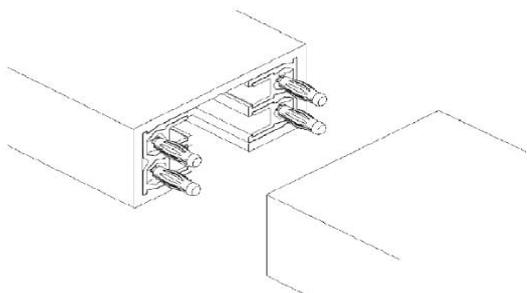
- 1、ネジを使って、X Power レールを天井・壁に設置してください。  
3箇所以上で、しっかりと固定してください。

#### パターン② X Power レールを2本以上設置する場合

- 1、XPR コードを接続する最初の X Power レールを、天井・壁に設置してください。XPR コード接続側に 30 mm以上のスペースがあることを確認してください。
- 2、次に取付ける X Power レールに4個のバナナジョイントを差し込んでください。

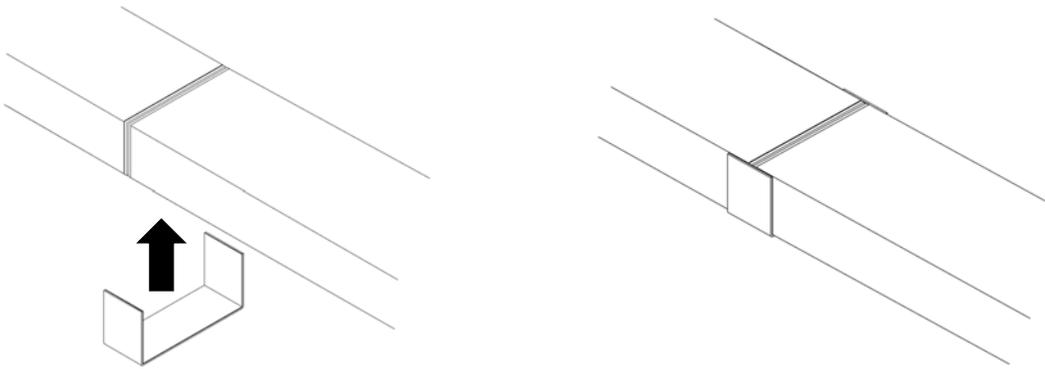


- 3、バナナジョイントを付けた X Power レールを、最初に設置した X Power レールと連結してください。



- 4、新しく連結した X Power レールを天井・壁に設置してください。

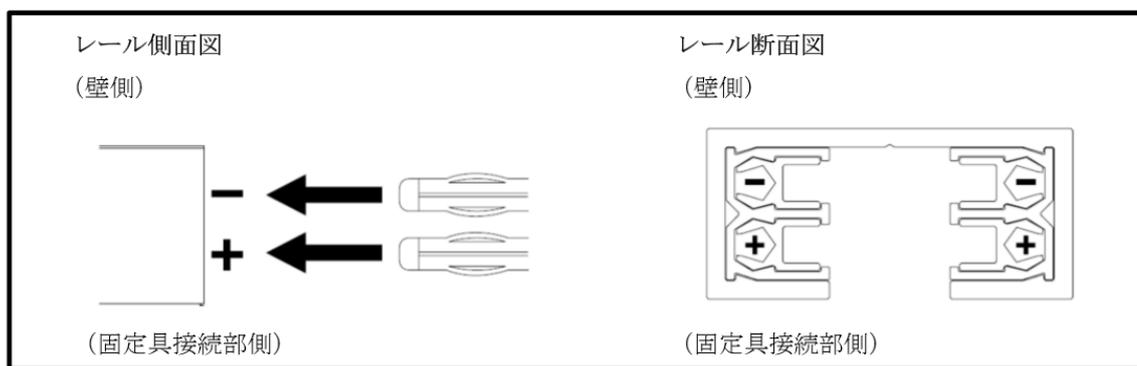
5、連結部カバーをシールをはがして、接続部につけてください。



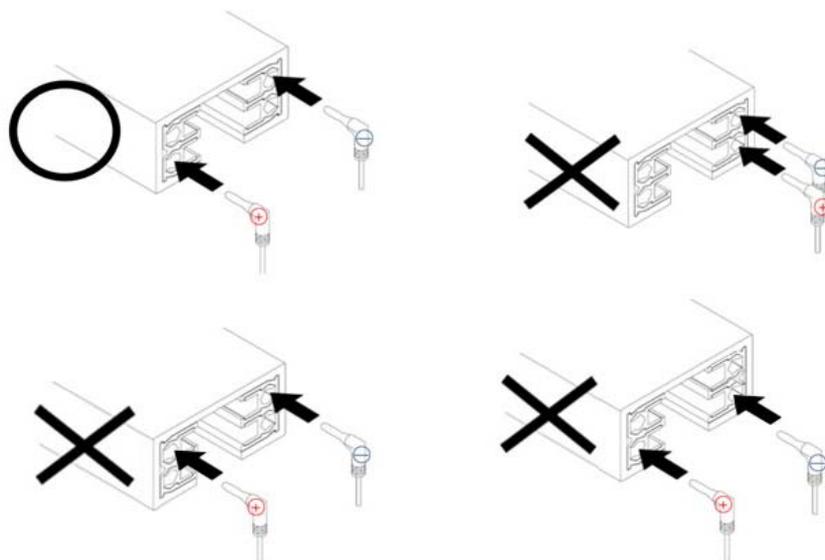
6、2～5までの手順を、必要な X Power レールの数だけ繰り返してください。

### STEP 5 : XPRコードを取り付ける。

XPR コードのプラス側とマイナス側を確認してください。プラグの側面に印字されています。  
XPR コードのプラスとマイナスを下図のように、X Power レールに取り付けてください。(壁・天井に近い方の段がマイナス側、壁・天井から遠い方がプラス側になる)

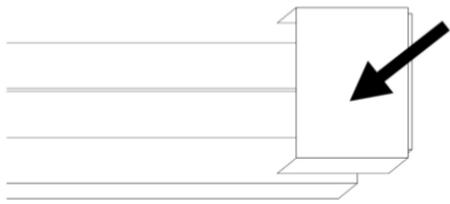


プラスとマイナスのプラグは交差して接続してください。

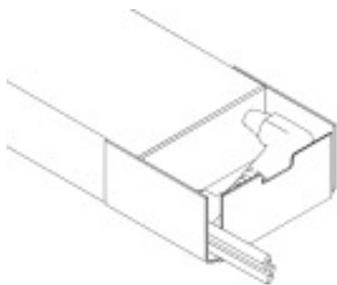


## STEP 6 : レールカバーを取り付ける。

X Power レールの両端に、レールカバーを取り付けてください。



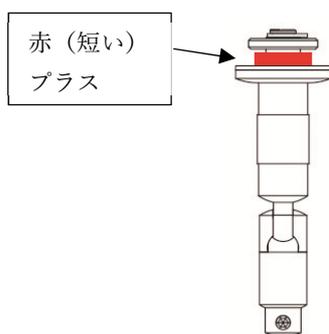
XPR ケーブル接続側は下記のようにして、XPR ケーブルをカバーに収めてください。



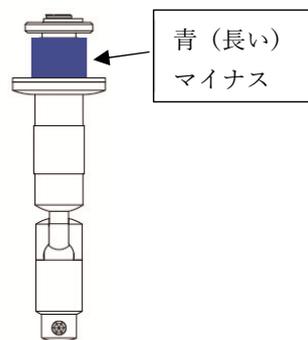
## STEP 7 : X power レール用の固定具を準備する。

1、赤いプラス固定具と青いマイナス固定具があることを確認してください。

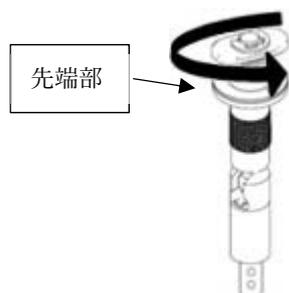
<プラス固定具>



<マイナス固定具>

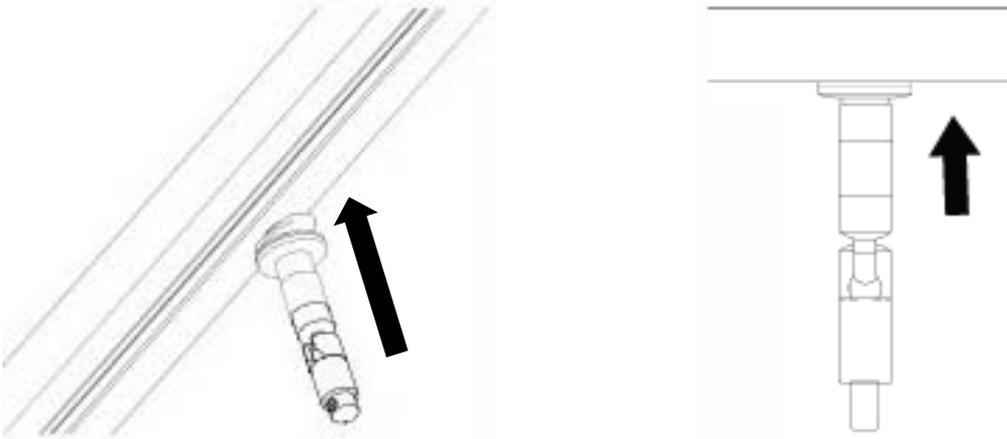


2、X Power レールに取付ける前に固定具の先端部分を反時計回りに回してゆるめておいてください。

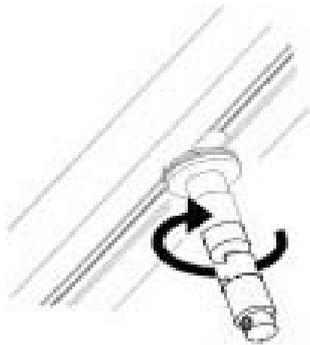


## STEP 8 : 固定具を XPower レールに接続する。

1、固定具を X power レールの奥までしっかり差し込んでください。

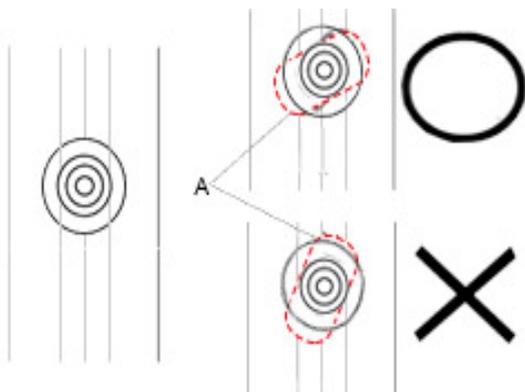


2、固定具を時計回りに締めて、X Power レールに固定してください。しっかりと絞めて取り付けてください。  
複数組の固定具を接続する際は、プラスとマイナスが同じ順番に並んで設置されていることを確認してください。



指示を  
守る

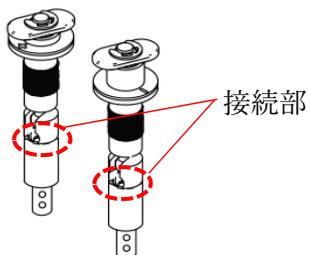
締めた後、固定具上部の楕円形の部分(A) がレールをしっかりと挟んでいることを確認してください。





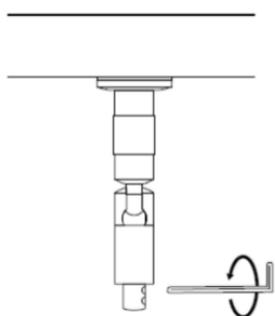
指示を  
守る

固定具を締めした後、下記の接続部がしっかりと締まっていることを確認してください

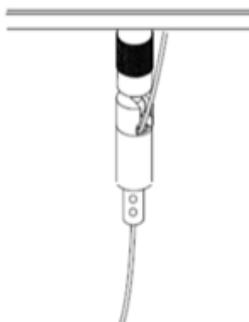
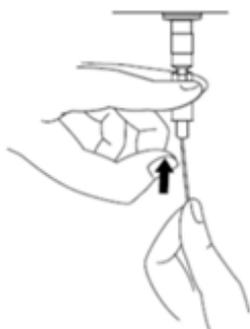


## STEP 9 : ハンマーケーブルを取り付ける。

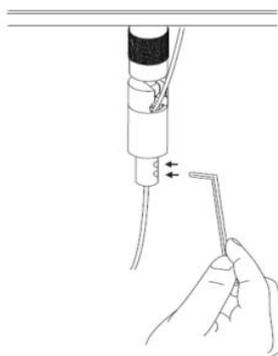
- 1、同封された六角レンチで固定具の先端部分にある2ヶ所の六角ソケットを回しゆるめてください。  
ゆるめすぎて六角ねじを落とさないようにご注意ください。



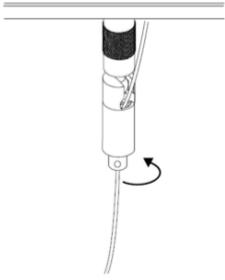
- 2、ハンマーケーブルを固定具先端部から、LEDパネル設置のための適切な長さまで差し込んでください。



- 3、六角レンチを使って2ヶ所をしっかりと締めてください。(しっかりと締めることで、ハンマーケーブルが通電するようになります)



4、固定具の先端を時計回しに締めてください。



5、設置後、余ったハンマーケーブルは邪魔にならないように切ってください。

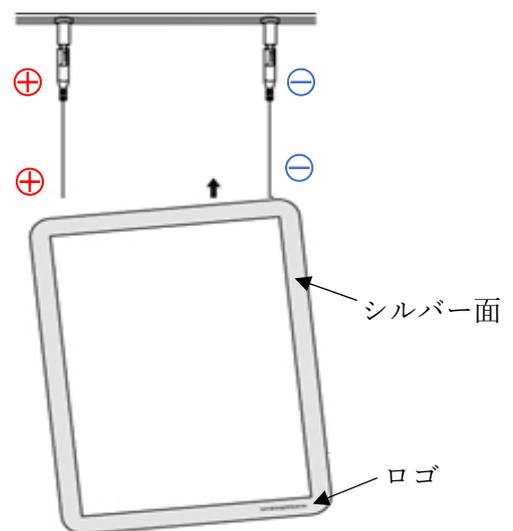
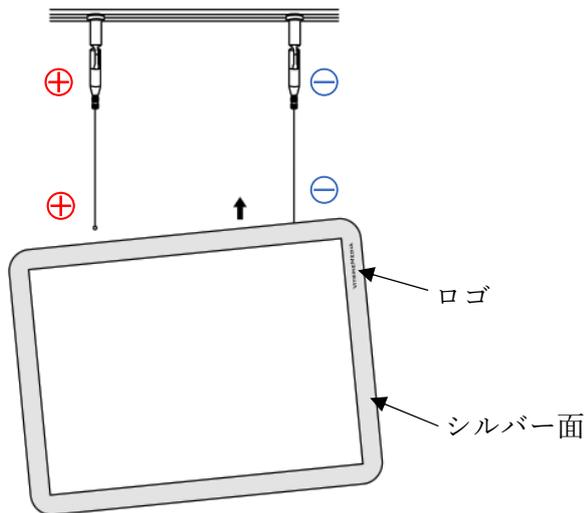


6、同様の手順で固定具を必要な個数だけ設置してください。

プラスとマイナスの固定具は、ハンマーケーブルを接続する LED パネルの差込口から垂直に配置してください。(A4、A3、A2、A1、各 LED パネルのハンマーケーブルを接続する差込口の間隔は 170 mm です)

## STEP 10 : LED パネルを設置する。

1、LED パネルについている差込口にハンマーケーブルを差し込み、スライドさせてください。



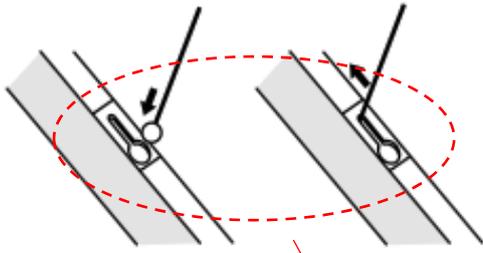
**LED パネルが横で、シルバー面を窓側に向ける場合  
(ロゴの位置が右上)**

上図のように、⊖の青色固定具を⊖の右側差込口、  
⊕の赤色固定具を⊕の左側差込口とハンマーケーブル  
で接続してください。

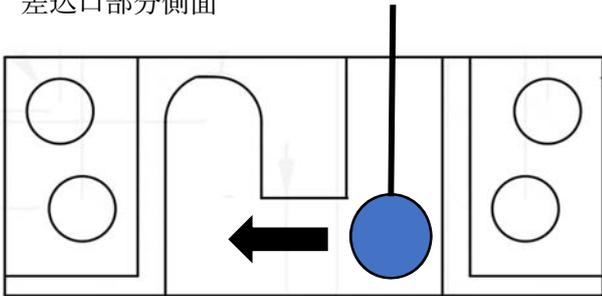
**LED パネルが縦で、シルバー面を窓側に向ける場合  
(ロゴの位置が右下)**

上図のように、⊖の青色固定具を⊖の右側差込口、  
⊕の赤色固定具を⊕の左側差込口とハンマーケーブル  
で接続してください。

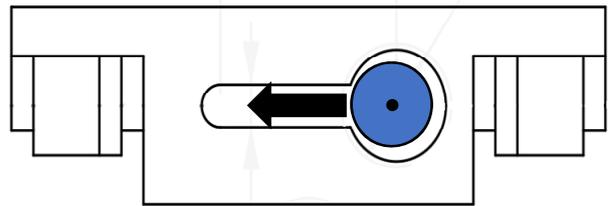
【差込口拡大図】



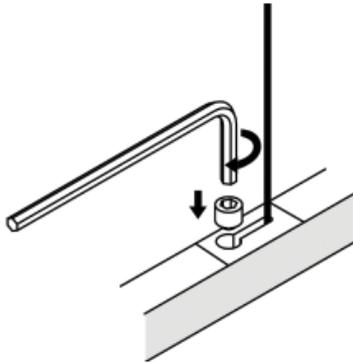
差込口部分側面



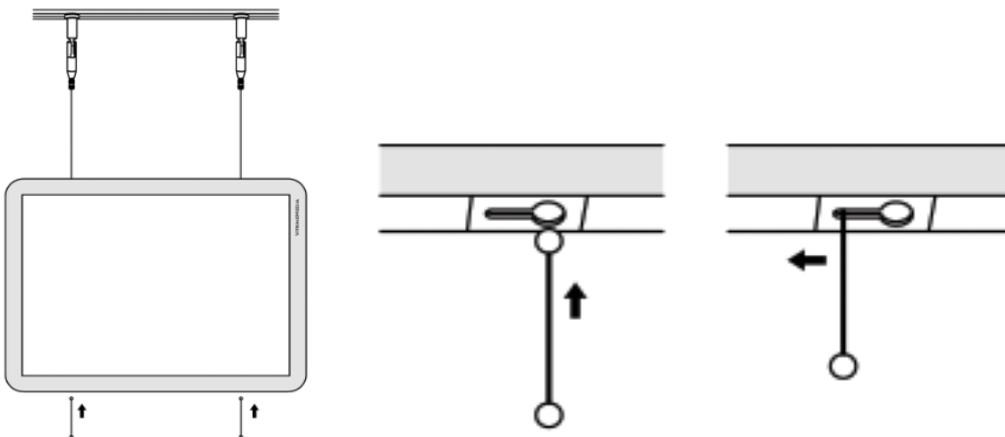
差込口部分上面



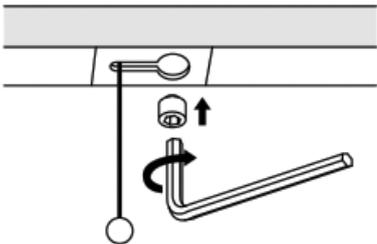
- 2、六角穴付き止めネジを六角レンチで固定してください。  
(A3、A4サイズは有料オプションです)



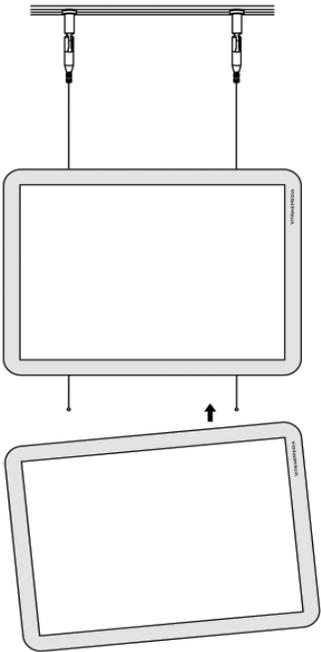
- 3、2枚目、または2枚以上のLEDパネルを連結して設置する場合は、ダブルハンマケーブルを使って設置済のLEDパネルの下の差込口に接続してください。



4、六角穴付き止めネジを六角レンチを使って固定してください。  
(A3、A4サイズは有料オプションです)

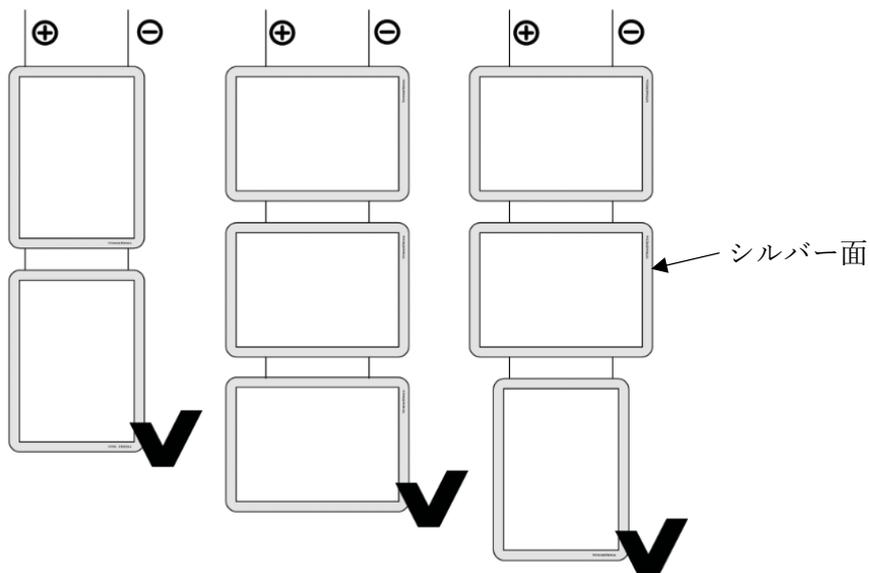


5、2枚目以降の LED パネルを同様の手順で設置してください。



6、同様の手順で、必要な列数分の固定具に LED パネルを設置してください。

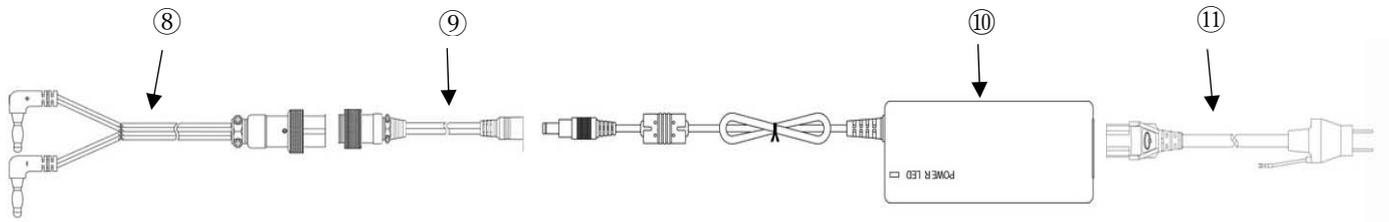
LED パネルを設置する方向に関する詳細は 17 頁の「追記：正しい方向に LED パネルを接続する。」をご参照ください。



## STEP 11 : 電源へ繋ぐ。

### パターン① 40W、60W、90WのACアダプターへ繋ぐ場合

1、XPRコード、変換ケーブル-タイプ1を、ACアダプター、電源コードを順に繋いでください。

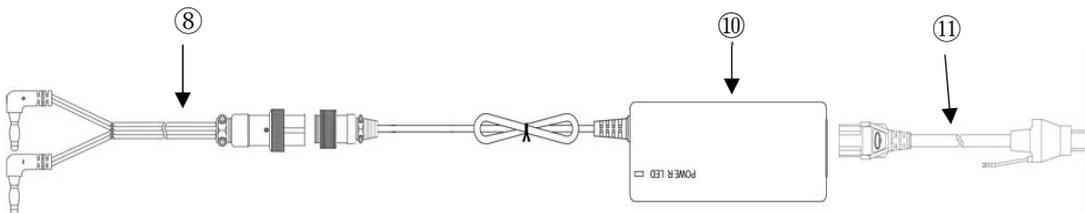


2、コンセントに接続して動作を確認してください。

### パターン② 160Wアダプターへ繋ぐ場合

1、160W用XPRコード、ACアダプター、電源コードを順に繋いでください

XPRコードとACアダプターの接続部をよく確認して、正しい方向に接続してください。



2、コンセントに接続して動作を確認してください。

ヴィトリン・メディア株式会社

所在地 【本社】

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目14-5 光澤堂GINZAビル7F

【金沢ショールーム】

〒920-0024 石川県金沢市西念4丁目24-21

【金沢配送サポートセンター】

〒920-0015 石川県金沢市諸江町上丁307-3

電話番号 03-6633-3303